

宇治市産業戦略の概要

< 課題や意見など >

- 市内企業の意見をよく聞いてほしい**
 - 市内企業の声に耳を傾けてほしい
 - 市内企業が仕事のしやすい環境をつくってほしい
 - 今、宇治にある企業を大事にすべき
 - 既存企業の強みを活かすことが大事
- 制度の周知不足、既存施設の活用不足**
 - 市や商工会議所の制度をよく知らない
 - 中小企業支援のワンストップ窓口が必要
 - 助成金など各種制度のセミナーをしてほしい
 - 産業振興センターや産業会館展示コーナーの活用ができていない
- 事業用地の制約や不足がある**
 - 用途指定や住工混在により事業がしにくい
 - 市内に拡張や移転する先の工業用地が少ない
 - 開発手続きのスピードアップを図ってほしい
 - 交通便利な位置だが市内の移動は不便な場所がある
- 情報発信が不足している**
 - 市内にどのような企業があるのか分からない
 - 市内の企業や商品、商店街をもっとアピールしてほしい
 - 宇治ブランドのイメージアップをしてほしい
- 量から質への転換が必要**
 - IT化、自動化等を進め、生産性を向上させたい
 - デザイン力、ブランド力の向上などによる高付加価値化を図るべき
 - 他社とのコラボにより新商品開発をしたい
 - 販路拡大を課題と考えている企業が多い
 - 設備投資などの融資制度の利用率は高い
 - 産学連携や異業種交流を進めるべき
 - 輸移出に比べて輸移入が多く、市外へ資金流出している
- 人材不足が深刻になっている**
 - 社員、パートとも雇用の確保が難しくなっている
 - 遠方への求人活動が難しい
 - 高齢化等により人材の育成が課題
 - 生産年齢人口が減少傾向にある
- 事業所数が減少している**
 - 開業率が低く、廃業率が高いため事業所数が減少傾向にある
 - 創業年数の若い企業が少ない
 - 事業承継を課題として考えている企業が多い
 - 起業しやすいまちであることをPRすべき
- 企業誘致は慎重に考えるべき**
 - 宇治の地価では大量生産型の工場には向かない
 - 研究開発型など付加価値の高い企業を誘致すべき
 - 良い企業が来てくれる環境を整えることが大事
- 産業全体のバランスが大事**
 - 工業や観光業などの各産業のバランスが大事
 - 中宇治以外の地域にもぎわってほしい

< 具体的な取組内容 >

(仮)宇治市中小企業サポートセンター、市関係課

職員が積極的に市内企業を訪問し、課題やニーズを聞き、各施策による支援や関係部署との調整、情報発信、交流の場づくり、産業政策の立案などを行う。

[構成]市の産業担当課、商工会議所、外部専門機関

連携 市の関係部署、国や京都府の関係機関、産業支援機関、金融機関、大学等

1. 事業のしやすい環境づくり

市内産業の経営支援
(事業用地に関する相談や関係部署との調整、企業立地補助金や各種助成金、専門機関と連携した支援、農家メルマガの配信等)
新たな工業用地の確保
(市内企業の移転拡張先等としての工業用地の確保に向けた調査や検討)

2. 市内産業の情報発信

魅力的な市内企業情報の発信
(市内製造業等を発信するオープンファクトリーやパンフレット、WEBの制作等)
宇治ブランドの向上
(観光振興計画に基づく観光施策、宇治市の魅力発信、宇治茶ブランドの向上や奨励作物の販路拡大支援)
商店街の活性化支援
(商店街等によるイベントへの補助等)

3. 市内産業の成長支援

連携・交流の強化
(異業種交流や産学交流の実施、農商工連携の促進)
販路拡大の支援
(展示会への合同出展や出展補助、先進的なモデル営農への支援、市内産農産物の流通促進や商談会等)
生産性の向上や付加価値の増加
(先端技術導入への支援や減税、各種セミナーの開催、設備投資への融資、委託研究や資格取得に対する補助、営農研修への支援)

4. 人材不足への対応

雇用の確保
(WEBを活用した雇用支援、会社説明会の開催、人材不足に対するセミナー)
人材不足を補う取組への支援
(先端技術導入への支援)

5. 事業の担い手の確保

起業支援
(起業ニーズの掘り起こしに向けた創業塾、起業家の交流会、新規開業への補助、ベンチャー育成工場の運営、起業融資への保証料補給)
円滑な事業継承への支援
(事業承継をテーマとしたセミナー)
企業誘致可能性の検討
(研究開発型や大学発ベンチャー等の誘致に向けた調査や検討)

報告、助言 (仮)宇治市産業振興会議へ報告し、助言を受けることにより施策の点検や見直しを随時行っていく

< 産業戦略の方向性 >

- (1) 市内産業の進化・発展
 - (2) 交流・連携の強化
 - (3) 新たな産業の創出
- 「広がる、生まれる、進化する
“産業交流都市・UJI”」

< 産業戦略の目標 >

